



みんな 学校は地域でつくる

～コミュニティスクールは未来への可能性～

「コミュニティスクール」とは、学校と家庭、地域が連携し、「地域とともにある学校づくり」を進めていく仕組みです。
市内の小・中学校では、子どもたちの笑顔が増え、学校や地域が元気になるよう、学校・家庭・地域が知恵を出し合いながら、一緒に子どもを育てる活動に取り組んでいます。
今回は、その活動内容や実際に携わっている方の声をお伝えします。

図 生涯学習・文化財課 ☎23・6370 学校教育課 ☎23・5101



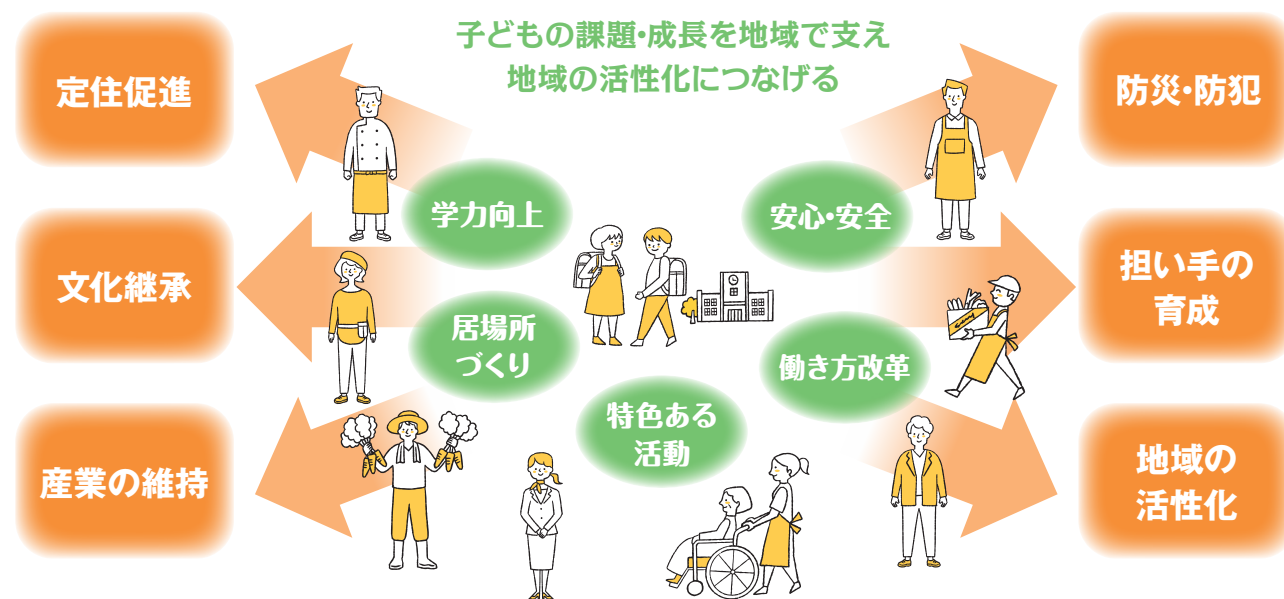
特集の内容は動画でも
ご覧いただけます

コミュニティスクールが果たす役割

『子どもたちの未来のために』
地域の方が学校に関わることで、子どもはさまざまな価値観やスキルを吸収し、学びの楽しさを感じ取ることができます。
豊かな体験とコミュニケーションは、子どもの生きる力を育み、未来を拓いていく力になります。

『地域の未来のために』
子どもは地域の宝、そして将来の担い手です。地域の方と過ごす温かな時間は、地域への愛着心を育みます。
また地域の方にとっては、子どもと活動することで、やりがいが生れます。
学校に集う地域住民同士のネットワークが、学校を核とした地域づくりを進め、子どもや学校、地域の課題や将来について、ともに考える機会につながります。

地域とともにある学校づくり [上田市のコミュニティスクール概念図]



主な学校支援ボランティア活動(地域学校協働活動)

学習支援	授業サポート	環境整備	花壇・樹木	きれいな学校をつくれます
	丸付け など		読書週間 など	
	総合的な学習		講師	
見守り活動	放課後学習	読み聞かせ	給食・清掃 など	子どもの心を育て、世界を広げます
	登下校		遠足同行 など	
	休み時間		交流 など	

学校のお手伝いをします
子どもの学ぶ意欲を育てます

安全を守ります

遊びを見守ります

一緒に活動します

地域の大人たちの交流を深めます

保護者・地域の皆さん

保護者や地域の方が学校に入り、子どもたちの豊かな成長を支える当事者として、地域学校協働活動(学校支援ボランティア活動)を実践します。



ボランティア

参加・参画



保護者・地域の皆さん



地域コーディネーター
地域学校協働活動
学校支援ボランティア活動

代表参加による反映

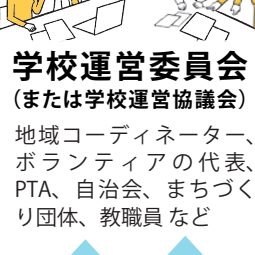


代表参加による反映



話し合いの場

支援



支援

学校運営委員会(協議会)

「どのような子どもに育てたいか」「子どもたちにどんな力をつけさせたいか」などの教育目標や教育活動、課題、地域連携の方向性などを話し合います。



支援

〈学校支援プロジェクト〉
公民館を核とした支援、研修会・交流会の開催、ボランティア保険の加入



教育委員会



CASE-1

北小学校

地域コーディネーター



伴 さん

学校運営委員



田中 さん

北小学校校長



堀内 さん

北小学校
ホームページ

コーディネーターとしての
関わりは

学校と地域の願いをつなげるための橋渡しや準備、調整などを行っています。常に新しいことにチャレンジしたいです。

どのような活動があるか

クラブ活動の講師といった学校支援などを行っています。また、学校が日常的に地域の大人の学びの場になり、楽しく学んでいます。

大切にしていることは

北小学校では、コミュニティスクールを「まちづくり」「人づくり」の場と考えています。地域に大切にされた子どもが、いずれ地域を大切にする大人になる。そんなあたたかい循環が生まれたら素敵だと思います。

活動内容は

私は、北部地区まちづくり協議会に所属しています。協議会では、教育に積極的に関わっていく方針のもと、文化・歴史部会、安全・防災部会、環境・生活部会のすべての部会で、学校の授業や行事との連携に力を入れています。

ボランティア活動への思いは

地域の方と直接触れ合うことで、学校だけでは得られない知識が学べるなど、とても良い影響を与えてもらっています。

地元自治会・PTA・まちづくり協議会との連携は

災害時に学校は避難所になります。災害時にできることを地域と一緒に考えるため、昨年度初めて地域の方と避難所の設営訓練をしました。防災を通じて、「学校と地域の協働の学び」が実現しました。

今後の目標は

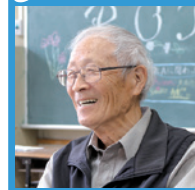
学校だけでなく、地域全体で未来ある子どもを育てていく活動や体制を作っていくことです。



CASE-2

神川小学校

学校運営委員



江澤 さん

神川小学校前校長



田中 さん

神川小学校
ホームページ

活動のきっかけは

神川地区の主任児童委員を務めており、「子どもの役に立つことをしたい」と思ったことがきっかけです。

活動内容は

学習支援や新一年生への給食指導、コミュニティルームで遊びの場の提供などを行っています。

大切にしていることは

子どもや先生の役に立っているか、喜んでもらっているかを常に考えながら活動しています。

楽しいことは

子どもと一緒に活動できることです。また、活動の後に、ボランティア同士でお茶を飲む時間も楽しいですね。学校に集うことで、地域の人と仲良くなれるのが嬉しいです。



今後期待することは

地域の方が学校に来てお茶を飲みながら話をする。そこに休み時間になった子どもが遊びに来るといった、「地域のオアシス」のような場所になれば良いと思っています。

地域の方と子どもが関わるメリットは

地域の方に子どもの成長を見守っていただいています。地域の方に自然とあいさつができるようになるなど、子どもと地域が良い関係を築けています。

CASE-3

真田中学校

学校運営委員長



青木 さん

活動内容は

サルビアの植栽やコミュニティルーム、放課後学習、放課後カルチャークラブなどを行っています。今年は53名のボランティアの方にご協力いただいています。

地域の方へメッセージ

学校の敷居は高いとされている人もいますが、学校のボランティア活動はどなたでも参加していただけますので、気楽に学校へ来てください。地域とともに学校を盛り上げていきましょう。



地域の方の活動内容は

真田中の伝統である生徒一人一鉢のサルビア栽培を継続するため、生徒や先生とともに地域の人も一緒に育てています。学習支援では、放課後の教室を使って、生徒が自主的に学習できるようにサポートしています。

今後の目標は

「わたしが学校に行っているの？」という声をよく聞きます。そういった考えを変えていただけるように、どんどん声をかけて、活動の輪を広げていきたいと思います。

真田中学校
ホームページ

学校運営委員



城間 さん

活動内容は

真田の郷まちづくり推進会議の事業として、学校が楽しいところになるように、休み時間にボランティアルームを開放したり、放課後に地域講師によるカルチャークラブを開催したりしています。

ボランティア活動への思いは

コロナ禍の影響により、今の中学生はコミュニケーションの機会が制限されてきました。そのため、地域の方との触れ合いがもたらす教育的な意義は、大きいと感じています。

学校として大切にしていることは

コミュニティスクールの取り組みを地域の方に知ってもらうため、学校だよりには必ず活動の様子を掲載しています。持続可能なコミュニティスクールを目指しています。



今後の目標は

より多くの地域の方にボランティアルームに来てもらいたいです。そこに子どもたちが立ち寄り、地域の方との会話が生まれ、関係性もでき、そのつながりから、何か発展していけばいいと考えています。

子どもを支える輪に、あなたも参加しませんか？

市内の学校では、「できるひとができるときにできることを」をモットーに、地域の方々がさまざまなかたちで関わり、学校ごとに特色ある取り組みを進めています。あなたも、子どもの豊かな成長を支えてみませんか。詳しくは、生涯学習・文化財課または各地域の公民館までお問い合わせください。



コミュニティスクールやボランティア活動に関する詳細は、市ホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。



市ホームページ

出前講座実施中！

職員が皆さまのもとに出向いてコミュニティスクールについて説明します。地域の学習などにぜひご利用ください。



市ホームページ